付 録

水を語る会 役員名簿

水を語る会 会則

水を語る会 会報 (第30号から37号)

水を語る会 役員名簿

(平成 30 年 6 月 25 日現在)

役職	名前	所属・役職
会長	 眞柄 泰基	(公財)給水工事技術振興財団理事長
副会長	飯嶋 宣雄	元・東京都水道局長、東京都市開発(株)相談役
"	森田 豊治	净水技術研究会会長
顧問	赤川 正和	元・東京都水道局長、(公社)日本水道協会顧問
"	坂本 弘道	前・(一社)日本水道工業団体連合会 専務理事、元・厚生省 水道環境部長
"	丹保 憲仁	北海道大学 名誉教授、元・北海道大学総長
幹事長	長岡 裕	東京都市大学 工学部 教授
幹事	有吉 寛記	フジテコム(株)、前・さいたま市水道局
"	大澤 裕志	前澤工業(株)
"	神谷 隆行	名古屋市上下水道局
"	川久保 知一	(株) 管総研
"	後藤 紫	ユビセンス・ジャパン(株)
"	高橋 俊介	横浜市水道局
"	坪井 智礼	管路管理総合研究所 (管清工業 (株))
"	中園 隼人	JFEエンジニアリング(株)
"	中西 正弘	元・日本水道新聞社
"	長峯 知徳	横浜市水道局
"	中村 幸雄	元・日本水道協会
"	馬場 未央	(株) 東京設計事務所
"	春田 満雄	前澤工業(株)
"	左 卓	(株)クボタ
"	藤木 一到	メタウォーター (株)
"	古川 明彦	横浜市水道局
"	星野 力	(公社)日本水道協会
"	山口 岳夫	水道技術経営パートナーズ(株)
"	山村 尊房	特定非営利活動法人 日本水フォーラム、元・厚生労働省 健康局
"	吉川 泰代	パシフィックコンサルタンツ(株)
"	渡部 英	(公社)日本水道協会
監事	関根 伸太郎	元・(株)水道産業新聞社
"	門脇 敏明	元・(株)日本水道新聞社
事務局長	富岡 透	水 ing(株)、元・日本水道協会

水を語る会 会則(案)

(名称および事務所)

第1条 この会は、水を語る会(以下「本会」という)と称し、事務所は東京都内に置く。

(目的)

第2条 本会は、水道はじめ水文化に関する調査研究および情報提供を行い、水道や水環境に対する市民 の理解の向上を促し、もって、水道の健全な発展および水環境の向上等に寄与することを目的と する。

(活動)

- 第3条 前条の目的を達成するため、会員相互の連携を図りインターネット等を通じて水道に関連する情報の収集・発信を行うほか、必要と認める諸活動を行う。
 - 2. これらの活動の成果として、印刷物の発行および研究会、講演会、見学会等を開催する。

(会員)

- 第4条 本会の会員は、個人会員、団体会員、協力会員の3種とする。
 - (1) 個人会員は、水道関係および水文化に関心のある個人とする。
 - (2) 団体会員は、水道関連団体、民間企業等とする。
 - (3)協力会員は、小中高等学校教員および学生生徒、報道関係者等とする。

(入会の承認)

- 第5条 本会に入会しようとする者は、会長に申し込み次の各号に該当する者と会長が認めたとき、その 入会を承認する。
 - 1. 本会の趣旨を十分正しく理解し協力が得られること。
 - 2. 本会会員としてふさわしい活動が行えること。

(退会)

- 第6条 会員が、退会しようとするときは、その旨を会長に申出なければならない。
 - 2. 個人会員および団体会員が2年間会費を支払わないときは、会長審議のうえ退会とみなすことができる。

(総会)

第7条 総会は、毎年1回開催する。ただし、会長が必要と認めたとき、または会員の二分の一以上により会議の目的を示して請求があったときは臨時総会を開催することができる。

(総会付議事項)

- 第8条 総会に付議する事項は、次のとおりとする。
 - (1)会則を制定、改正すること
 - (2)役員を選任又解任すること
 - (3) 事業計画及び予算を承認し、事業報告を承認し決算を認定すること
 - (4) 会費を制定、改定すること
 - (5) 前各号のほか、運営上の重要事項を決定すること

(会員の表決権等)

- 第9条 会員の表決権は、個人会員および団体会員が各1票を有するものとする。この表決権の行使を会 長に委任することができる。
 - 2. 協力会員は、総会に出席して意見を述べることができる。

(総会の定足数)

第10条 総会は、個人会員および団体会員の10分の1以上の出席がなければ開会することはできない。 前条による委任状の提出者は、出席者とみなす。

(総会の議決)

第11条 総会の議決は、個人会員および団体会員の出席者の過半数をもって決し、可否同数の場合は、 議長の決するところによる。

(役員)

第12条 本会は、次の役員を置く。

会 長 1名

副会長 若干名

顧 問 若干名

幹 事 若干名

監事 2名

2. 会長は、本会の運営を統括し代表する。

- 3. 副会長は、会長を補佐し会長に事故あるときは、その職務を代理する。
- 4. 会長、副会長および幹事は、幹事会を構成し、総会に付議すべき事項を審議するほか本会の運営事項について決定する。
- 5. 監事は、本会の決算を監査する。

(役員の選任および任期)

- 第13条 会長、副会長、顧問、幹事および監事は、会員の中から総会で選任する。
 - 2. 役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(会費)

- 第14条 本会の会費は、次のとおりとする。
 - (1)個人会員は、年額 3,000円
 - (2)団体会員は、年額10,000円
 - (3) 顧問、協力会員は、無料
 - 2. 個人会員および団体会員は、前項の会費を本会事務局に納入しなければならない。
 - 3. 会員以外の者が定例総会、会員集会に参加する場合は、資料代・会場運営費として下記金額を請求する。
 - (1) 定例総会・会員集会への参加につき、1回あたり1,000円

(会計年度)

第15条 本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31月に終わる。

付 則

この会則は、平成20年6月7日から施行する。但し、第14条は、平成21年4月1日から適用する。

付 則

改正後の会則は、平成28年7月30日から施行する。

付 則

改正後の会則は、平成29年7月22日から施行する。

会報第30号

₩水を語る会

平成 28 年 7 月 30 日 **水 を 語 る 会** 会長 眞柄 泰基

現在の会員数 一般会員 159 名 団体会員 8 団体 協力会員 7 名 (平成 28 年 7 月現在)

講演会の報告(第24回会員集会)

日時: 平成28年4月23日(土)

14 時~16 時 30 分

場所:日本水道会館 会議室

参加会員数:93人

講演①:「上下水道における汚泥加圧脱水機の変遷」 【講師】落合隆氏(月島機械株式会社水環境事業本部新事業推進部LCB推進グループ担当部長)

講演①では、水質汚濁防止法が制定されて 以来、浄水処理にとって重要な位置付けとなっている排水処理について、汚泥脱水技術の 変遷、脱水機の種類や変遷について、分かり やすく説明していただきました。会場との質 疑では、排水処理技術の海外展開について質 間があり、高分子凝集剤の使用なども含め、 海外向けの技術について議論されました。





落合氏

宮崎氏

講演②:「水道界における最近の話題 -Hot News-」【講師】宮崎正信氏(厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部 水道課長) 講演②では、講演日のおよそ1週間前に発生し対応が続いている。平成28年能本地震につ

し対応が続いている、平成 28 年熊本地震について、被害状況や対応状況などの情報提供があり、初期対応での課題等についてもお話いただきました。その後、水道施策の現状と新水道ビジョンの推進、水道事業の維持・向上に関する専門委員会を設置すること、28 年度予算につ

いて説明をいただきました。会場との質疑では、 都道府県や水道事業者の果たすべき役割など について議論がありました。

定例幹事会の報告

日時:平成28年4月23日(土)11時~12時

場所:日本水道会館会議室

議題:会則の見直し、今後の講師の検討、講演

録の作成

編集後記

会の休憩時間、横浜国立大学の朝倉先生から 8月25、26日に横浜国立大学で開催される「持 続可能な水道システムの確立の第8回シンポ ジウム」について情報提供がありました。

水を語る会・会員集会の動画配信を行っております。ご視聴される方は、下記の実施要領を 基に、動画配信をお楽しみ下さい。

- (1) 水を語る会の Website を立ち上げて下さい。 (URL: http://mizuwokatarukai.org /)
- (2) Website のトップページの黒塗り部内をクイックして下さい。(当日、水の写真の部分が黒塗り部に切り替わります。)
- (3) パスワードを入力して下さい。(パスワードは、 講演会の案内メールに記載されております。)
- (4) Web ブラウザが立ち上がり、Ustream の Website が立ち上がります。
- (5) 再度、パスワードを入力して下さい。
- (6) ライブ配信画面に切り替わります。

※注1)動画配信は中継のみで、後日ご視聴頂くことはできませんので、予めご了承下さい。

※注2) パスワードを幾度か要求されると思います。その度に、同じパスワードをご入力下さい。

新規入会をご希望の方は、事務局までご一報ください。詳しくはホームページをご覧ください。

→ http://mizuwokatarukai.org /

平成 28 年 11 月 19 日

水を語る会

会長 眞柄 泰基

現在の会員数 一般会員 160 名 団体会員 8 団体 協力会員 7 名 (平成 28 年 7 月現在)

年次定例総会の報告

平成28年7月30日に「水を語る会」年次定例総会が開催された。定例総会には93名の会員が参加し、平成27年度事業報告・収支決算、平成28年度事業計画・収支予算、役員の改選、会則の改正が上程され、原案のとおり承認された。

総会特別講演の報告

日時:平成28年7月30日(土)14時30分~

場所:日本水道会館会議室

講演:「第二次大戦後の水害と水行政」

講師:東京大学名誉教授 日仏工業技術会会長

高橋 裕 氏

講演では高橋講師より、わが国における第二次大戦後の水害と行政の対応について紹介された。

本題ではまず、1982 年に発生した長崎水害について言及。「当時、建設省は眼鏡橋が川の疎通能力を落としていることが水害の原因になったため撤去を計画したが、反対運動を経て残されることとなった。これは治水と文化財の両者を両立して対策が講じられた画期的な事例」と説明された。





高橋氏

会場の様子

つづいて、1945年の枕崎台風、1947年に利根川洪水をもたらしたカスリン台風、1953年の北九州水害、1954年の洞爺丸台風など「戦後15年間の大水害頻発時代(1945~59年)」について丁寧に解説された。1958年の狩野川台風については、「都市水害の走り」としたう

えで、「水害を考えるとき、その土地の利用の 履歴を考える必要がある。人の住んだ歴史に水 害の本質がある」と強調し、さらに「日本は水 害大国であり、数十年、100年という期間でわ が国の大河川の大半は堤防が切れている」と語 った。

講演の最後には、「水害は社会現象である。 また、今後重要であるのは気候変動と海面上昇。 50年後、100年後の海面水位を意識しておくべ き」、「主要な河川の堤防は必ず切れることを国 家の常識にしてほしい」と締めくくった。

定例幹事会の報告

日時:平成28年7月30日(土)12時~13時

場所:日本水道会館会議室

議題:総会準備、今後の講師の検討、ウェブサイト等、講演録の作成

編集後記

水を語る会・会員集会の動画配信を行っております。ご視聴される方は、下記の実施要領を基に、動画配信をお楽しみ下さい。

- (1) 水を語る会の Website を立ち上げて下さい。 (URL: http://mizuwokatarukai.org/)
- (2) Website のトップページの黒塗り部内をクリックして下さい。(当日、水の写真の部分が黒塗り部に切り替わります。)
- (3) パスワードを入力して下さい。(パスワードは、 講演会の案内メールに記載されております。)
- (4) Web ブラウザが立ち上がり、Ustream の Website が立ち上がります。
- (5) 再度、パスワードを入力して下さい。
- (6) ライブ配信画面に切り替わります。

※注1)動画配信は中継のみで、後日ご視聴頂くことはできませんので、予めご了承下さい。

※注2) パスワードを幾度か要求されると思います。その度に、同じパスワードをご入力下さい。

新規入会をご希望の方は、事務局までご一報く ださい。詳しくはホームページをご覧ください。

→ http://mizuwokatarukai.org /

会報第32号

冰水を語る会

平成28年2月18日 **水を語る会** 会長 眞柄 泰基

現在の会員数 一般会員 160 名 団体会員 8 団体 協力会員 7 名 (平成 28 年 7 月現在)

講演の報告

日時:平成28年11月19日(土)14時~17時

場所:日本水道会館会議室

講演①:「北九州市の水道事業と国際展開」

講師①:㈱北九州ウォーターサービス 顧問

森一政氏

講演①では、森講師より、まず、北九州市の水道事業の概要を説明された後、同市職員の海外派遣が述べ13ヵ国184



森一政氏

人を超えること、海外研修生の受け入れが述べ 146ヵ国約5,000人近くにのぼることが紹介された。更に、同市の海外水ビジネスの目的は、 ①地域産業への影響、②新たな収入源、③技術の継承と人材育成、④国際貢献であると説明された。また、同市の強みは工業都市及び環境都市であること、及び北九州市海外水ビジネス推進協議会の設立経緯や体制について説明がなされた。続いて、同市が特に力を入れているカンボジア国、ベトナム国及び中国大連市における技術協力の取り組みについて紹介された。

講演②:「海外技術協力と海外開発プロジェクト」 講師②: ㈱新発設計 技師長 芳賀秀壽氏

講演②では、芳賀講師より、まず、東京都水 道局職員として水道行政に携わっていた時に タイ国へのマスタープランの見直しのための 専門家派遣の打診を受け、語学面で苦労をしな がら最初の任務に従事した体験を話された。帰



芳賀秀壽氏

訓練センタープロジェクトに赴任することになった。タイ国の水道職員を育成することがミッションであり、フォローアップの1年を含め計6年で、当初目標以上の専門家派遣数及び修了生数等の成果を出すことができた。続いて、カンボジア国プノンペン市の上水道整備計画について、プノンペン水道(PPWSA)エクソンチャン総裁を筆頭としたカンボジア国側の自助努力も相まって、素晴らしい成果が得られたとの説明がなされた。

国後、再度派遣の打診を受け、タイ国水道技術

定例幹事会の報告

日時: 平成28年11月19日(土)12時~13時

場所:日本水道会館会議室

議題: 今後の講師・テーマの検討、リレーエッ

セイの執筆、親水道百選について

編集後記

水を語る会・会員集会の動画配信を行っております。ご視聴される方は、下記の実施要領を 基に、動画配信をお楽しみ下さい。

- (1) 水を語る会の Website を立ち上げて下さい。 (URL: http://mizuwokatarukai.org/)
- (2) Website のトップページの黒塗り部内をクイックして下さい。(当日、水の写真の部分が黒塗り部に切り替わります。)
- (3) パスワードを入力して下さい。(パスワードは、 講演会の案内メールに記載されております。)
- (4) Web ブラウザが立ち上がり、Ustream の Website が立ち上がります。
- (5) 再度、パスワードを入力して下さい。
- (6) ライブ配信画面に切り替わります。

※注)パスワードを幾度か要求されると思います。その度に、同じパスワードをご入力下さい。

新規入会をご希望の方は、事務局までご一報ください。詳しくはホームページをご覧ください。

→ http://mizuwokatarukai.org /

会報第33号

平成 29 年 5 月 13 日 水 を 語 る 会 会長 眞柄 泰基

現在の会員数 一般会員 160 名 団体会員 8 団体 協力会員 7 名 (平成 28 年 7 月現在)

講演会の報告 (第 26 回会員集会)

日時: 平成29年2月18日(土)

14 時~17 時。

場所:日本水道会館7階会議室



久保俊裕氏

講演①:『ジャパン水道と海外ビジネス』

(講師: 久保俊裕氏・クボタ代表取締役副社長執行役員)、

講演②:『国内外の官民連携の様々な事例について』

(講師:水谷重夫氏·水ing代表取締役社長)、

講演③:『メタウォーターの目指す姿~

水・環境インフラを共に支える企業グループへ~』

(講師:中村靖氏・メタウォーター代表取締役社長)

講演①では、クボタの現況から海外進出の歴史を説明。「差別化」によって中東をはじめ、アメリカでも認められる成果をあげていることと、日本のおもてなし精神がビジネスでも有効に作用していると説明された。



水谷重夫氏

講演②では、官民連携について海外 5 カ国の事例を紹介。中でもフランスパリの民営水道について再度公営化を掲げたが、実は人員が会社に移動しただけのことであり、実質的には官民連携が継続していると指摘。



中村靖氏

講演③では、官民連携の事例紹介後、持っている情報のアンバランスから生まれる情報の非対称性。これからの世の中は三種の神器は出てこず、多様な要望の小ロット化、モノだけでなく経験もインターネットにつながり、異業種から参入する

Tech-REX(ICT に長けた異業種)が業界を壊滅的に席 巻してしまうというお話。 講演終了後、眞柄会長は日本国内の活動が世界の水ビジネスとつながることを再認識すべきと総括した。



会場の様子

定例幹事会の報告

日時: 平成29年2月18日(土)12時~13時

場所:日本水道会館 7階会議室

議題:総会日程、今後の講師・テーマの検討。

編集後記

私は下水道管路管理業の民間会社から「水を語る会」に参加させていただいており、毎回会員集会講演会は楽しい勉強の場でもあります。そして今回日本を代表する水道関係企業のトップ・幹部の方々のお話も大変興味深く聴かせていただきました。水道業界向け講演会というと私にとっては専門的で難しい印象でしたが、講師の皆さんのお話は、ご自身が経験された多くのご苦労や企業の独自アイデアを基とした面白いキーワードがたくさん入っており、私自身のこれから、いろいろな局面でのヒント・助言になると思います。下水道業界同僚友人にも是非聴いてほしいと思いました。(管清工業株式会社管路管理総合研究所坪井智礼)

- ◆「水を語る会」は会員集会の動画配信を行っております。ご視聴される方は、当会ホームページ記載の実施要領を基に、動画配信をお楽しみ下さい。
- ◆新規入会をご希望の方は、事務局までご一報下さい。詳しくはホームページをご覧ください。
- → http://mizuwokatarukai.org /

会報第34号

平成 29 年 7 月 22 日 水 を 語 る 会 会長 眞柄 泰基

現在の会員数 一般会員 160 名 団体会員 8 団体 協力会員 7 名 (平成 28 年 7 月現在)

講演会の報告

(第27回会員集会)

日時:平成29年5月13日(土) 14時~17時

場所:日本水道会館7階会議室

講演① 『水道法改正と水道事業の将来』

(講師: 古米弘明氏 東京大学大学院工学系研究科教授)

講演② 『人口減少時代における浄水処理―配水システムのトータルソリューション創出へ向けて』

(講師:伊藤禎彦氏 京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻教授)

講演①では、古米先生が水道の将来ということで、 人口減少や管路の老朽化に対応していくために必要

な基盤強化について

お話しされました。

今回の水道法改正でも、基盤強化に関する施策の推進が示されており、改めてその認識を高める機会になりました。次の国会での審議が待たれるところです。



古米弘明先生

講演②では、伊藤先生が人口減少社会に向けたトータルソリューションということで、配水管内環境のコントロールが大切とお話しされました。

また、配水管内環境のメンテナンス技術や 共同研究などの具体事例をわかりやすく説明いただきました。

こちらは、今後の人 口減少時代の水道のあ り方を考えさせられる 講演となりました。



伊藤禎彦先生

今回の全員集会でも 100 名を超す参加者がありましたが、参加者は両先生のお話に熱心に耳を傾けており、関心の高さがうかがえる講演となりました。



会場の様子

定例幹事会の報告

日時:平成29年5月13日(土) 12時~13時

場所:日本水道会館 7階会議室

議題:総会関連、リレーエッセイ、ホームページ他

リレーエッセイ「水声」のご紹介

水を語る会のホームページでは、水への想いを綴ったリレーエッセイ「水声」を連載しています。新たに 3編を執筆していただきましたのでご覧ください。

第28回 人口減少時代の小規模水道に向かって 筆者 坂口 功さん

第29回 関西水道記念館めぐり

筆者 左 卓さん

第30回 「水を語る会」立ち上げ準備のはなし 筆者 中村 幸雄さん

編集後記

水を語る会は、今回の総会で 10 年目を迎えます。 設立当初から多くの皆様に参加いただいており、最近 の集会では参加者が100名を超すほどの盛況となって います。今後も水に関する交流の場として、講演会や ホームページなどを通じて有意義な情報が得られる 場にしていきたいと思います。((株)クボタ 左 卓)

◆「水を語る会」は会員集会の動画配信を行っております。ご視聴される方は、当会ホームページ記載の実施要領を基に、動画配信をお楽しみ下さい。

- ◆新規入会をご希望の方は、事務局までご一報下さい。 詳しくはホームページをご覧ください。
- → http://mizuwokatarukai.org /

会報第35号

平成 29 年 11 月 25 日 水 を 語 る 会 会長 眞柄 泰基

現在の会員数 一般会員 140 名 団体会員 8 団体 協力会員 4 名 (平成 29 年 7 月現在)

年次定例総会の報告

平成29年7月22日に「水を語る会」年次定例総会が開催された。定例総会には89名の会員が参加し、 平成28年度事業報告・収支決算、平成29年度事業計画・収支予算、役員の改選、会則の改定が上程され、 原案のとおり承認された。

総会特別講演の報告

日時: 平成29年7月22日(土) 14時~15時半

場所:日本水道会館7階会議室

講演:『水道法改正をふまえたこれからの水道の展望』

講師:元厚生労働省水道環境部長、前水団連専務理事

坂本 弘道 氏



講演では、坂本先生が昭和40年に厚生省水道課に 奉職された頃からの水道行政の歩みと今回の水道法 改正のポイントを、わかりやすく解説いただいた。 過去の法改正や通達などの経緯に関して、坂本先生も 含めた当時の関係者の活躍が昨日のことのように語 られ、水道行政も多くの関係者の努力の積み重ねの上 に形作られたことが実感できる講演となった。

講演の冒頭に、坂本先生より、「(私が現職であった) 国民皆水道が目標の時代とは異なり、今は人口減少で 市町村統合などにより、水道は答えの難しい大変な時 代になった。しかし、これからの仕事は面白い。(答 えがないので)何をやってもいいのだから。」と、若 い世代へのエールをいただいた。

また講演の最後では、今後の水道や水道行政につい

て、国はポイントだけは押さえること、都道府県は広域化推進協議会を作ること、小規模水道をしっかり守ること、官民連携についてはしっかり議論すること、災害対策や渇水対策をしっかりすること(富士山の噴火も心配である)、テロ対策もしっかりすること(韓国は浄水場を鉄砲で守っている)など、これから大切にすべきことをアドバイスいただいた。



定例幹事会の報告

日時: 平成29年7月22日(土) 11時~12時半

場所:日本水道会館7階会議室

議題:総会関連、リレーエッセイ、次回集会準備他

リレーエッセイ「水声」のご紹介

水を語る会のホームページでは、水への想いを綴ったリレーエッセイ「水声」を連載しています。

編集後記

水を語る会は 10 年目を迎え、年4回の貴重な講演をとりまとめた講演集もすでに第4号となりました。 講演集をめくるたび、水を語る会は、各界の著名な先輩方が講師として後輩に熱く語る情熱に支えられていることを強く感じております。ホームページの講演集も是非一度ご覧ください。(㈱管総研 川久保知一)

- ◆新規入会をご希望の方は、事務局までご一報下さい。 詳しくはホームページをご覧ください。
- → http://mizuwokatarukai.org /

会報第36号

平成 30 年 1 月 27 日 水 を 語 る 会 会長 眞柄 泰基

現在の会員数 一般会員 140 名 団体会員 8 団体 協力会員 4 名 (平成 29 年 7 月現在)

講演会の報告(第28回会員集会)

日時: 平成29年11月25日(土) 13時30分~17時

場所:日本水道会館7階会議室

講演①「水利用」研究推進事業(CREST)の成果は

水道界に貢献しているか?

―水道界は科学技術に貢献しているか?―

(講師: 大垣眞一郎氏 (公財) 水道技術研究センター理事長) 講演②水利用システムにおける膜濾過技術への期待

―膜ろ過浄水技術の展開―

(講師:渡辺義公氏 中央大学研究開発機構教授)

講演①では、文科省CRESTの成果が水道界にど

う貢献しているかに ついて、水道事業体が 利用できる循環モデ ル、地域にスケールダ ウンした需要予測等 の例を挙げ、17研究 チームの主な研究成



大垣眞一郎先生

果を紹介されました。また、「都市工学を学ぶ人ならば哲学や人間学を学んで欲しい」、「5,60年前の過去の状況が今のように変化してきている、水道界は混沌のなかにあり変化は早い、何事にもとらわれない思考が必要」と水道界にとって示唆に富むお言葉をいただきました。

講演②では、膜ろ過・浄水技術について、MAC21か

ら25年、1999年に 0. 1%であった膜の 普及率は、2015年 に2. 4%となり、順調 にゆっくり膜の時代が きている。日本のエン ジニアリング会社が 基礎研究を通じてどう



渡辺義公先生

いう商品を作り上げたのか、モノリスセラミック膜、浸漬型浄水膜ろ過、ロバスト膜の3つの商品の特性を説明さ

れた後、膜ファウリングの定義とその軽減、抑制について講演いただきました。



会場の様子

定例幹事会の報告

日時: 平成29年11月25日(土) 11時~12時

場所:日本水道会館 7 階会議室

議題:会員集会、リレーエッセイ、次回集会準備他

リレーエッセイ「水声」のご紹介

水を語る会のホームページでは、水への想いを綴ったリレーエッセイ「水声」を連載しています。

今後の予定(第30回会員集会)

日時: 平成 30 年 4 月 21 日(十) 13 時 30 分~

場所:日本水道会館7階会議室

編集後記

平成30年7月開催予定の定次総会にて、水を語る会講演録第5号の配布を予定しています。現在、2年分の講演内容を幹事一同手分けして編集作業に取り組んでいます。過去の第1回から第4回までの講演録はホームページ上で公開していますので、是非ご覧ください。今後も、水を語る会の活動に対しご支援、ご協力をお願い申し上げます。(幹事 星野力)

- ◆新規入会をご希望の方は、事務局までご一報下さい。 詳しくはホームページをご覧ください。
- → http://mizuwokatarukai.org /

会報第37号

₩水を語る会

平成 30 年 4 月 21 日 **水 を 語 る 会** 会長 眞柄 泰基

現在の会員数 一般会員 140 名 団体会員 8 団体 協力会員 4 名 (平成 29 年 7 月現在)

講演会の報告(第29回会員集会)

日時:平成30年1月27日(土) 13時30分~17時

場所:日本水道会館7階会議室 講演①「東京都の漏水防止対策」

(講師:田村 聡志 様 (東京都水道局技監)

講演②「川崎市における漏水防止の取組」

(講師:亀山 充 様 (川崎市上下水道局水道部長)

講演①では、第二次世界大戦後には80%であった

東京都の漏水率を、現在の3.1%まで削減してきた対策の経緯に加え、ナレッジバンクや水道技術エキスパート制度など維持管理に関連する技術継承について紹介されました。さらに、漏水防止技術に関わる国



田村聡志講師

際貢献に向けた取り組みとして、研修生受け入れや講師派遣などについて紹介し、「今年は IWA 世界会議が東京で開催される。各国の漏水防止技術についても多数発表されると思う。」と参加を呼びかけられました。

講演②では、長沢浄水場の導水ずい道の坑口に刻ま

れた「滾々不盡」の石板 を紹介した上で、川崎市 における漏水事故の発 生事例と漏水防止対策 の取り組みを披露され ました。特に、計画的作 業として近年強化して よる監視型漏水調査に よる作業の効率化など



亀山充講師

について紹介していただきました。また、漏水防止対策において効果の高い水圧管理や管路維持管理の適正化における課題と対策に加え、今後の方向性として、短期的・長期的それぞれの視点で重視すべき項目についてご講演いただきました。



会場の様子

定例幹事会の報告

日時:平成30年1月27日(土) 11時~12時30分

場所:日本水道会館 7階会議室

議題: リレーエッセイ、講演集作成、新幹事着任他

リレーエッセイ「水声」のご紹介

水を語る会のホームページでは、水への想いを綴ったリレーエッセイ「水声」を連載しています。

今後の予定(30年度年次定例総会)

日時: 平成 30 年 7 月 21 日(土) 13 時 30 分~

場所:日本水道会館7階会議室

編集後記

平成20年6月に「水を語る会」が発足してから早いもので10年が経ちました。本日の会員集会に定次総会を加えると講演会の開催は40回を数えました。これも、ひとえに会員各位のご支援・ご協力の賜物と、この場を借りて感謝申し上げます。なお、水を語る会講演録第5号の配布を予定しています。過去の第1回から第4回までの講演録はホームページ上で公開していますので、是非ご覧ください。今後も、水を語る会の活動に対しご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

(幹事 有吉 寛記)

- ◆新規入会をご希望の方は、事務局までご一報下さい。 詳しくはホームページをご覧ください。
- → http://mizuwokatarukai.org /